

私服併用可能期間を目前にして

校長 川崎 芳徳

皆さん、こんにちは。校長の川崎芳徳です。

連日、暑い日が続いています。熱中症対策を忘れず、元気な日々を過ごしてください。

先日の文化祭での文化部やクラスの素晴らしい発表、運動部の総体での目を見張る活躍などなど、校長としまして、誇らしい限りです。

さて、今日は、貴重なホームルームの時間をお借りしまして、いよいよ近づいてきました、私服での登下校が可能となることについて、少しお話しさせていただきます。

まず、その期間ですが、期末考査終了の翌日、3年生は修学旅行終了翌日の7月8日金曜日から、秋分の日、9月23日金曜日まで、そして、2学期末考査終了翌日の12月14日水曜日から卒業式前日の2月28日火曜日までとなります。この間は、始業式や終業式の式典や、中間・期末考査、また、特別に指示があった日を除いて、制服に加え私服での登下校を可能とします。

この取組みの趣旨ですが、今年、創立40周年を迎えている本校は、総合学科の看板を掲げて、はや21年目に入っています。様々な「選択」を行いながら「学びたいことが学べる学校」の中で、変化が激しく予測困難なグローバル社会を、心豊かにたくましく生き抜いていける「総合的人間力」獲得を目指し、「全人教育」を推し進めているところです。

このような中、社会では、すでに18歳で選挙権があり、3年生で誕生日を迎えた人は、選挙に行き、私たちの代表を選ぶという権利を行使していただいている現実があります。7月10日日曜日にも、参議院議員通常選挙が行われますので、是非、権利を行使してください。

加えて、今年度からは、18歳で“成人”となり、これまで保護者と一緒でなければできなかった多くのことが、単独で行えることとなりました。まさに、国から“大人”として認められることとなったのです。

ならば、皆さんには、18歳で、“大人”として認められる、言い換えれば、“大人”として扱われる社会の中で、大きな誤りがなく、恥ずかしい思いをせず、堂々と胸を張って生きていける“人格”を、高等学校教育の中で獲得していただかなければならない、と考えています。

このようなことから、学校生活の中にあっても、強く意識していただきたいのは、“校則”という、小さなコミュニティーの中だけのルールではなく、“社会のルール、マナー、社会通念”…そして、“人としてどうなのか”ということです。

「校則で決められているから守っている、ただ守っていればよい」「先生に指示されたことを、深く考えず、こなしていれば大丈夫」では、変化が激しく予測困難なグローバル社会を、心豊かにたくましく生き抜いていくことはできないでしょう。

また、そもそも、人間を人間たらしめている根幹には、“選択の自由”があります。「学びたいことが学べる学校」須磨友が丘で、真夏の間、真冬の間においては、その日の天候・気温、体調、スケジュール、または気分もあるでしょう、これらに応じて、「着たい服が着

られる学校」になるというわけです。

皆さん、「社会のルール、マナー、社会通念」「人としてどうなのか」、「18歳成人」、そして「選択の自由」…こう話してきますと、趣旨を理解いただけただけではないでしょうか…では、例えば、スリッパやハイヒール、裸足、他校の制服で登下校してもいいのでしょうか…ここからが、“須磨友が丘生の真価”が問われるところです。これらは、学校生活を送るうえで、また、この度の趣旨に照らしてどうでしょうか…皆さんには、判断がつくと思います。ですから、このような具体例を一つ一つ列挙するようなことは行いません。

そもそも、このたびのお話の実現するのは、何と言っても、まずは、皆さんの現在の制服の着こなしが美しく、風紀面でも、ほぼ問題ない状況が続いているからなのです。

皆さんは、これまで、家庭教育はもちろん、保育園、幼稚園、小学校、中学校、そして本校で、素晴らしい先生方の熱心な指導を受けられ、何が正しく、何が誤りか、そして、どのあたりが社会通念上認められ、“人として”OKなのか、すでに、よく理解されていることでしょう。どうか、その感覚を軸に、私服併用可能についても、「知・考・行」の精神で対応してください。

もし、趣旨から少しずれているかな、少し助言が必要かな、といったケースが生じた場合には、皆さんの人格形成を本業としている先生方から、丁寧にお話しいただきますので、その時は、しっかり心で聴いて、考えて、行動修正をしてください。

私は、私服を併用していく中で、制服の素晴らしさ、そして、制服への愛着も、これまで以上に高まってくるものとも考えています。

皆さん、是非、この度の私服併用可能を機に、これまで以上に明るく、生き生きと学校生活を謳歌してください。生まれてから死ぬまでの、この世で過ごせる時間の中で、一瞬とも言える高校生活は、実に貴重で、何にも代え難い素晴らしい時間です。つらいこと、悩ましいことも、何とか乗り越え、充実した時間を過ごしてください！

最後になりましたが、この私服併用の実現にあたり、生徒指導部の先生方と、さまざま、調整・発信をしてきてくれました、山下前会長をはじめとした、前生徒会のメンバーの皆さんに、この場をお借りしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。大久保新会長と生徒会の新メンバーの皆様には、これからの活躍に大いに期待しています。よろしくお願ひします。

以上、私服併用可能期間を控え、校長からのお話を終えます。貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

7月8日から、38回生・39回生・40回生で、須磨友が丘高等学校の、新たな歴史をスタートさせてください。